



栗山会飯田病院広報誌

2023
VOL. 79

いづくしみ



P2 特集 介護保険事業の紹介

P6 リハビリ通信

P7 病院からのお知らせ

P8 医師紹介

P9 ちょこっとトレーニング

P10 職場紹介

P11 栄養科 行事食の紹介



りんご並木 70周年

栗山会飯田病院は
医療だけでなく
介護でもみなさまを
ご支援しています



訪問看護

「訪問看護ステーション たんぽぽ」が
ご自宅での看護を支えます

たんぽぽでは、食事介助、褥瘡（床ずれ）予防、楽な体位、排便管理、痰の吸引などの実践とご家族への指導、介護の相談など、看護師としてご自宅へ伺い「医療・看護」を提供させていただいています。上記の方の場合では特に食事と褥瘡が心配になり

ますが、ケアマネや主治医の先生と日々連携し、飯田病院のステーションというメリットを生かしながら『住み慣れたご自宅で過ごしたい』というお気持ちに寄り添い、その方にあった看護を提供しています。



居宅介護支援

介護って？

まずはケアマネジャー（ケアマネ）にご相談ください

病気や加齢により以前と同じように暮らせなくなってしまった方が、今後どう生活したいかを支援するために介護保険があります。まず介護認定を受けていただきますが、区分は要支援1、2から要介護1～5まであり、認定結果により使えるサービスも様々です。

例えば、脳梗塞で麻痺が残ってしまい、介助がないと食事が摂れず、嚥下機能（食物を飲み込む力）の低下によりミキサー食（嚙まなくてもよい食事）が必要になってしまった方がいるとします。介護保険で効果的に使えるサービスを考え、計画を立てるのがケアマネの仕事です。

訪問介護

「ヘルパーステーション すずらん」が
日々の暮らしを支援します

今回のケースではミキサー食作りの依頼がありました。ミキサー食といっても硬さや食材などの違いがありますし、初めてのご家庭では戸惑うことも多いため、栄養士さんと一緒に勉強していただくこともあります。ご利用者の体重や嚥下の状態も確認しながら

「おいしい」の一言のために、笑顔という名の調味料を多めにに入れてご提供しています。

このほか、おむつ交換、入浴介助などのお体のケアや、掃除、洗濯など家事全般に対してご支援しています。



訪問リハビリ

「仲ノ町診療所 訪問リハビリ」で
ご自宅でのリハビリを支援します

ご利用者本人やご家族が望む「暮らし」の実現に向けて、飯田病院附属仲ノ町診療所医師の指示のもとで、ご自宅での運動や生活動作の練習、福祉用具や生活環境などをアドバイスします。今以上に麻痺が進まないことを目標とした場合、関節が硬くなっ

たり、筋力が落ちたりしないための運動のほかに、体力アップや気分転換も兼ねて座る練習、車椅子でのレクリエーションや散歩なども行います。また、食事の際の姿勢作りやアドバイス、状態にあったベッド・車いすの選定等もお手伝いさせていただきます。

ご家庭での介護が難しい場合は

アップルハイツ飯田の入所部門がご支援します



介護老人保健施設は在宅復帰を目指すことを目的にリハビリや療養をする施設です。ご利用者本人やご家族が望む生活ができるよう医師をはじめ多くの職員が連携し、生活支援に取り組んでいます。

病気により低下した体力や機能をもう少し回復させたい時や、ご自宅の環境を整えたい時は、病院からご自

宅への退院前にご利用いただけます。ご自宅で生活される中で入院するほどではないがご本人の状態が変化した時、ご家族が休養したい時やご家族の状況が変化した時にもご利用いただけます。原則として利用期間には限りがありますが、一時的や定期的なご利用など、ご本人ご家族の状況に応じたご利用が可能です。



さいごに

栗山会飯田病院が運営する介護保険事業をご紹介します。介護がご心配のときは、まず、ケアマネにご相談ください。栗山会全体でご支援いたしますのでお気軽にお声かけください。



各事業所 所在地・連絡先



えんじゅビル
飯田市
大通1丁目30番地2

- 居宅介護支援飯田病院(ケアマネジャー)
TEL 0265-22-5150(代)
- 訪問看護ステーション たんぼぼ
TEL 0265-22-8620
- ヘルパーステーション すずらん
TEL 0265-22-5260



**地域包括ケア複合施設
ウェルネスタウン丘の上**
飯田市仲ノ町1丁目2番地

飯田病院附属仲ノ町診療所

- 訪問リハビリ TEL 0265-49-3083
- 通所リハビリテーション丘の上 TEL 0265-49-3085



**介護老人保健施設
アップルハイツ飯田**
飯田市羽場権現1618

- TEL 0265-21-1165



介護老人保健施設・デイケア

「アップルハイツ飯田」

デイケアをご利用いただけます



アップルハイツ飯田のデイケアは、要支援から要介護5まで広範囲の方をお受けし、排泄や入浴などの個別ケアに力を入れています。また、ご利用中の休憩や寝たきりの方への対応ができるようベッドを完備しています。

ご利用時間も入浴やリハビリのみ利用したい方のための半日利用や、ご家庭の都合に応じた延長利用にも対応しています。ご利用中は身体を動かす時間を多く設けており、皆さん意欲的に取り組まれています。

通所リハビリ

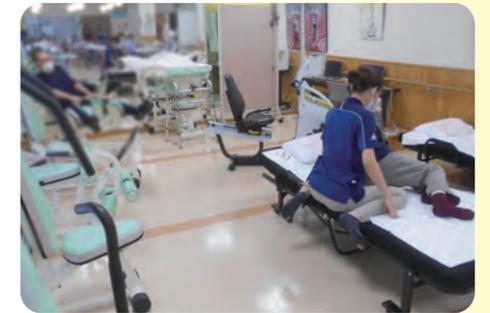
「仲ノ町診療所 通所リハビリテーション丘の上」も ご利用いただけます

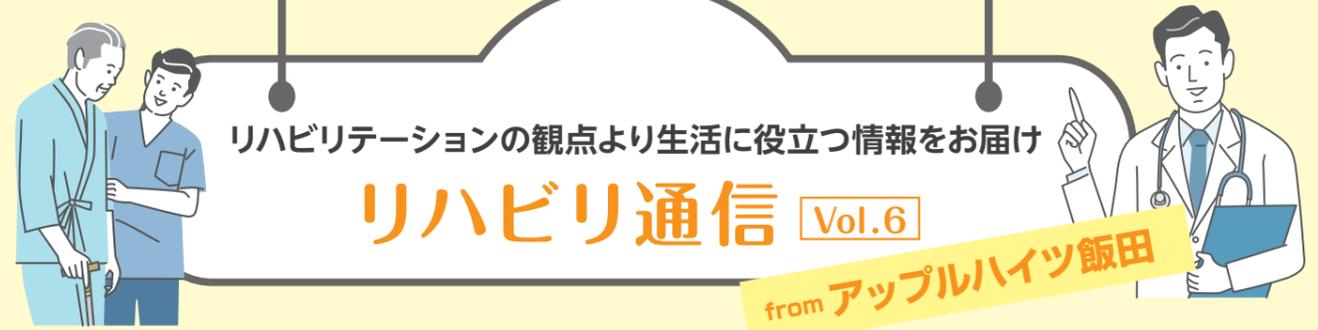


通所リハビリテーション丘の上(デイケア)は、専用施設でリハビリ、入浴、食事といったサービスを提供するもので、ご自宅から施設までは職員が送迎させていただきます。

快適な居場所になるよう、医師、看護師をはじめ、リハビリ、介護

など多くのスタッフが丁寧に対応しています。事前に診療所医師の診察を受けていただき、その方に最適なサービスを企画するほか、ご利用者の皆さんが交流できるレクリエーションも企画しています。





リハビリテーションの観点より生活に役立つ情報をお届け

リハビリ通信 Vol.6

from アップルハイツ飯田

前号まで理学療法士による発信をしてきましたが、今回は盛り上がっているアップルハイツデイケアの様子を紹介したいと思います。アップルハイツデイケアは、介護福祉士による工夫と元気いっぱいのレクリエーションや広々とした大浴場、リハビリテーションスタッフや介護福祉士が共同し個々に応じたリハビリテーションの提供、利用中も身体を休めたい方のためにベッドが完備されていることが特徴です。また、季節や行事に合わせてイベントをおこなっています。今回はその様子を掲載させていただきます。

紅葉狩り



節分



スタッフが鬼の格好をして豆まき

初詣



サツマイモの苗植え



庭園でみなさんの知恵を借りました!

現在、1日あたり30人前後の方々にご利用いただいております。より多くの方々にご利用いただけるよう、最近では朝の送迎の枠を増やしました。早めに来所してリハビリテーションや作業活動をしたい方や早めの送迎をご希望のご家族に好評をいただいております。ご利用いただく方々にご満足いただけるよう、引き続き工夫していきたく思います。スタッフ一同お待ちしておりますので、ご検討の方はぜひお問い合わせください!

執筆：デイケアスタッフ一同
施設長：大原慎司（医師）

介護老人保健施設

アップルハイツ飯田

長野県飯田市羽場権現 1618 TEL 0265-21-1165(代)

アップルハイツ飯田 リハビリテーション科
企画制作動画 『介護お役立ち情報』



病院からのお知らせ

インフルエンザ 予防接種のご案内

- 接種対象 13歳以上
- 予約期間 10月2日(月)～12月15日(金)
- 予約方法 【総合受付】 月～土 9時～17時
月～金 14時～17時
- 【電話】 月～金 14時～17時
- 専用電話番号 0265・48・6252
- 実施日時 11月11日(土) 17日(金) 25日(土)
12月1日(金) 8日(金) 16日(土)
金曜日 15時～16時
土曜日 13時30分～15時
- 接種費用 【13歳～64歳】 4800円
【65歳以上】 市町村予防接種価格

外来診察時に一緒に予防接種を希望される場合は、各科外来窓口にてご相談ください。



11月14日は 世界糖尿病デー

11月12日(日)～11月18日(土)の全国糖尿病週間にあわせて、左記イベントを開催します。

- ◎ブルーライトアップ
日時 11月12日(日)～11月18日(土)
16時30分～22時
- ◎場所 飯田病院 正面玄関
(最上部にシンボルマークである「ブルーサークル」を設置します)



昨年のブルーライトアップの様子

- ◎啓発ポスターの展示
期間 11月6日(月)～11月30日(木)
- ◎場所 飯田病院 泌尿器科外来前
壁面ギャラリー

飯田市長寿企業顕彰を 受けました

今年創立120年を迎えたことあたり、このたび飯田市より「飯田市長寿企業顕彰」を受けました。これもひとえに地域の皆様のご支援、ご助力の賜物と感謝申し上げます。これからも地域の皆様に愛され信頼される医療・介護・福祉を提供できるよう努力して参ります。



読者アンケート

広報誌「いづくしみ」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。皆さまからのご意見・ご感想を今後の企画・編集の参考にさせていただきます。読者アンケートにご協力ください。アンケート(設問数8問)はQRコードよりご回答ください。

アンケートはこちらから
ご協力ください!



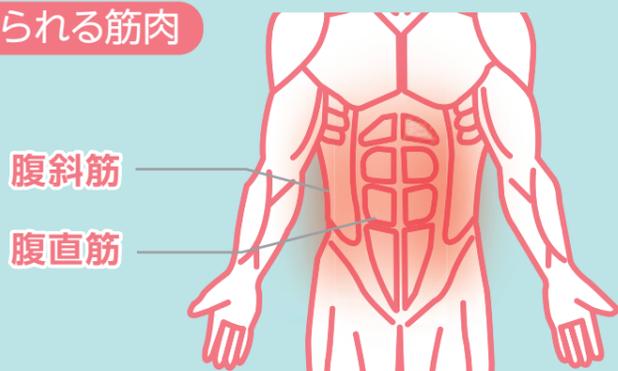
見落とされがちな 腹斜筋を鍛えて くびれを作ろう 「クロスクランチ」



効果

くびれ・姿勢改善
便秘予防

鍛えられる筋肉



やり方



① 仰向けになり、手は後頭部に当てひじを開きます

② 片脚は伸ばしたまま反対の脚のひざは90°に曲げて上げます

③ 曲げたひざと反対のひじをひねるように上げてくっつけます(左ひざと右ひじ、右ひざと左ひじと交差するように)

②、③を繰り返す。
左右10回×3セット

ポイント

- 上げているひざは動かさず、ひざにひじをつけるようにしましょう(届かない人は太ももでもOK)
- 身体をひねることが重要です

フィットネスクラブ丘の上

健康運動指導士が、各種健康教室・情報発信を通して皆さんの健康をサポートします。また、健康教室の講師依頼も承ります。ご相談ください。

☎0265-49-3080 担当: 筒井・中野

このトレーニング
動画はこちら!



循環器内科副部長
伊藤 健一 (いとう けんいち)
日本内科学会 総合内科専門医
日本循環器学会 循環器専門医

令和4年4月1日から飯田病院に赴任しました循環器内科の伊藤と申します。私の経歴ですが、平成4年に山梨医科大学を卒業し、信州大学医学部第3内科に入局しました。神経内科と循環器内科の医局で当初は、数ヶ月で神経内科は向いていないことに気づき循環器内科を専攻しました。平成5年〜7年小諸厚生病院(現・浅間南麓こもろ医療センター)で研修し、この頃から心臓カテーテル検査(心カテ)を始めました。平成7年〜8年自治医科大学付属大宮医療センター(現・さいたま

医療センター)では、心カテ治療もバリエーションからステントの時代と変わってきました。ここでは心臓リハビリも勉強しました。その後、広島県の福山循環器病院に半年だけ勤務しました。小さな病院でしたが、心臓外科もあり、多くの症例を経験させていただきました。カテーテル治療でもDCAやロタブレーターがでてきました。平成9年から3年間大阪の国立循環器病センターで研修しました。ここでは全国から珍しい症例や重症な症例が集まり、弁膜症、心筋症など重症心不全、特に心臓移植待機患者の主治医になったのはよい経験になりました。またここでも心臓リハビリに参加したり、新しい心臓超音波装置の経験や、血管内超音波の実験もさせてもらいました。平成12年から信州大学第3内科に戻りましたが、この時期から信州大学の第1、第2、第3内科の循環器内科がひとつに再編されました。平成14年から2年間安曇総合病院(現・北アルプス医療センターあづみ病院)に赴任しました。ここでは循環器内科は自分ひとりだったため、すべて一人で心カテ、ペースメーカーなどの

治療をしなくてはならず、忙しかつたですが、それなりに充実していました。平成16年から3年間飯田市立病院にお世話になり、平成19年から再び小諸厚生総合病院に赴任しました。50歳後半となり、体力的・精神的にも緊急の心臓カテーテル検査や重症の心不全管理などは負担が大きくなったため、第一線からは退きました。その後現在に至るまで、循環器内科一般内科医として内科疾患や慢性疾患や高齢者の循環器疾患を中心に診療しています。地域の医療機関とも連携し、この地域の医療に貢献できるように頑張ります。どうぞよろしく願います。

最後に趣味ですが、ゴルフは、20年くらい続けていますが、なかなか上達していません。カテーテルと同じようにゴルフクラブも進化していますが、腕の方は進化していません。また、旅行も趣味で、転勤が多く、今までに7回引越していることもあり、旅行ではすべての都道府県を制覇しております。また時間ができれば旅行も楽しみたいです。思っております。



No.
38

業務支援室



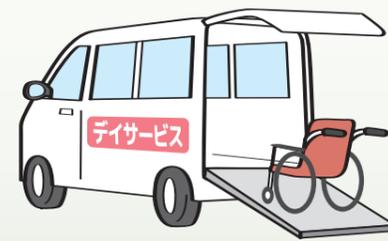
総務課 業務支援室は、病院地下に事務所があり日々業務に努めています。

日常的な業務内容は、送迎業務、約70台ある公用車両の管理（訪問看護、訪問リハビリ、ケアマネジャー訪問用）、廃棄物管理、物品管理（各部署で不要になったロッカーや机などの保管や移動）、売店管理等があります。また、季節仕事として施設内植物の剪定、草取り、落葉掃き、雪かき等、多種多様な業務を行っている部署です。

送迎業務について簡単に説明させていただきます。医師の送迎（主に中津川、松本へ）や、訪問診療同行、透析患者さん（市内、高森、南信濃等）、デイサービス利用者さんの送迎、救急車での患者さんの転院搬送とあり、日々の安全運転は勿論のこと、時間厳守で対応しています。大雨や雪等の自然災害時の送迎にも極力対応出来る

ようにスタッフ全員で協力し対応しています。また、足腰が不自由で車の乗り降りが困難な患者さんへの介助や移乗介助のお手伝いもさせていただいています。

これからも業務支援室は、間接的な立場ではありますが、患者さん、利用者さんに寄り添ったサービス提供をしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



栄養科
行事食の紹介

毎年11月3日の文化の日には、秋をイメージした行事食を提供しています。

年により料理内容は変わりますが、今回昨年提供したメニューをご紹介します。



菊花モンブラン

スポンジケーキを角切りにして真ん中に置き、サツマイモと栗とプリンを混ぜてペースト状にしてスポンジケーキの上からモンブランケーキのようにまぶします。食用菊を飾りました。



吹き寄せ煮

秋の味覚を煮つけて色とりどりに盛りつける煮物。野菜をもみじやイチョウなどの形に整えて煮ます。

秋の彩ご飯

彩よく仕上げるために具材は白醤油で煮ておき、別に炊飯したさくら飯（醤油ご飯）に混ぜると彩良く仕上がります。

鯖の幽庵焼き
付甘酢生姜



菊のすまし汁



飯田病院 外来診療表

2023年10月現在

		月	火	水	木	金	土	
内科	①	高木 隆助	高木 隆助	高木 隆助	大原 慎司		福岡 秀樹 (第1・3週) 高木 隆助 (第2・4週) 竹内 和航 (第1・3週) 横田 大介 (第2・4週)	午後受付は 13時～16時
	②	前澤 浩	福岡 秀樹	佐々木 成人	福岡 秀樹	後藤 由也		
	③	横田 大介	横田 大介	唐澤 光治	唐澤 光治	横田 大介		
	④	千葉 隆一	竹内 和航	渡部 秀雄	千葉 隆一	渡部 秀雄		
	⑤	竹内 和航	山路 研二	柴田 有亮 (信州大学)	山路 研二	伊藤 健一		
	⑥	原 栄志	佐々木 成人	品川 尚志	原 栄志	佐々木 成人		
	⑦		市川 智英		荒木 寛司	品川 尚志		
	午後		渡部 秀雄 長沼 邦明	福岡 秀樹 伊藤 健一	佐々木 成人	唐澤 光治 後藤 由也		
神経内科		高木 隆助	高木 隆助	高木 隆助	大原 慎司	関島 良樹 (信州大学) 後藤 由也	信州大学より 交替制	午後受付は 13時～16時
ふるえ・ふらつき 外来	午後					大原 慎司		完全予約制
泌尿器科	①	梅田 俊一 (第1・3週)	深澤 瑞也	梅田 俊一			神家満 学 梅本 幸裕 (隔週)	午後休診 第2・4・5月曜、木・金曜休診 火・土曜：電話連絡必要
	②							
外科	①		田中 穂積			田中 穂積		午後休診 月・土曜休診 水曜完全予約制
	②		森田 誠市		森田 誠市	森田 誠市		
	③		後藤 博志	柴田 祐充子	後藤 博志	後藤 博志		
フットケア 外来	午後		竹内 和航	竹内 和航				完全予約制
整形外科	①	鈴木 健太郎	中村 幸男	鈴木 健太郎	中村 幸男	鈴木 健太郎	田中 厚誌 (信州大学)	午後休診 土：不定期 電話連絡必要
	②	矢嶋 秀明		矢嶋 秀明		矢嶋 秀明		
	③	小林 貴幸		小林 貴幸	皆川 均	小林 貴幸		
人工関節 外来	午前	鈴木 健太郎 小林 貴幸	中村 幸男	鈴木 健太郎 小林 貴幸	中村 幸男	鈴木 健太郎 小林 貴幸		
再生医療外来	午前	鈴木 健太郎		鈴木 健太郎				
精神科	①		名古屋市立大学	松田 あずさ (15時まで)	神庭 靖子	名古屋市立大学	土曜休診	
	②	小幡 興一	小幡 興一	南風原 泰	杉浦 琢	南風原 泰		
	③	山田 浩貴 (信州大学)	木下 守 (15時まで)	倉石 雄太 (信州大学)	松本 武典	原田 喜比古		
	④	清水 隆明	清水 隆明	神庭 重信	神庭 重信	古田 康		
眼科		浅井 裕子 中澤 哲治	浅井 裕子	浅井 裕子 中澤 哲治	浅井 裕子 中澤 哲治	中澤 哲治	交替制	
耳鼻咽喉科		堀口 茂俊	堀口 茂俊	堀口 茂俊	堀口 茂俊		堀口 茂俊	水曜午後・金曜休診 平日午後・水・土曜 完全予約制
アレルギー科		堀口 茂俊	堀口 茂俊	堀口 茂俊	堀口 茂俊		堀口 茂俊	完全予約制
補聴器外来	午後	堀口 茂俊	堀口 茂俊					完全予約制
もの忘れ 外来	神経内科		高木 隆助 (午後のみ)	大原 慎司 (午後のみ)	前澤 浩 (午後のみ)			完全予約制
	精神科	交替制	交替制			交替制		
リハビリテーション外来		本田 哲三 (午後のみ)					本田 哲三 (午前のみ)	完全予約制(土曜：慢性疼痛外来)

※内科・神経内科(午前診療分)、泌尿器科、外科、整形外科、人工関節外来、再生医療外来、眼科、耳鼻咽喉科は予約を除き、午前11:00までの受付となります。 ※土曜日午後は全科休診です。



〒395-8505
長野県飯田市大通1丁目15番地
TEL 0265-22-5150
FAX 0265-22-3988

医療連携室
(月～土 8:30～17:00)
TEL 0265-56-0031
FAX 0265-56-0032



広報誌 令和5年秋号(第79号)【発行】社会医療法人栗山会 【編集】広報委員会

<http://www.iida.or.jp>